

10月26日のウクライナ情報

安齋育郎

●ダーティ・ボム(放射能汚染兵器)をウクライナが使用の危険？(2022年10月23日)

国防大臣ショイグが、ウクライナが使いそうなダーティボム(汚い爆弾)の件で各国防衛省に電話を
かけまくっている！

ダーティボムは核爆発ではなく、放射性物質を拡散させる爆弾や装置。



※安齋注:ウクナチが何度もロシア軍に跳ね返されてもザポリージャ原発奪還作戦をやる理由は放射性物質が欲しいのかもしれないという意見もある。あるいは、「ウクライナは汚い手を使う可能性がある」という“ウクライナの汚さ”を宣伝するためのロシアのプロパガンダか。最近、ロシアが情報戦を見直しつつあるのかもしれない。

●ゼレンスキー大統領、論理も理性も危機的か(2022年10月)

ゼレンスキー大統領:ロシアが核を使ったらすぐさまクレムリンを攻撃するべき。

https://twitter.com/Jano661/status/1584230883204403201?s=20&t=RRwSHkS8WzMSn94SU_afBQ



●ウクライナ兵のロシア軍へのなりすまし(Sputnik、2022年10月18日)

装備にZマークを書き、白い腕章をつけて、ロシア軍になりすますよう命令を受けたウクライナ兵士。「ウクライナ軍は4月、マリウポリからザポロジエへの出撃を準備していた際、戦車やその他の装備にロシア軍の識別マーク(VとZの文字)を描いていた」。現在収監されているウクライナ海軍少佐、ニコライ・ミシチェンコ氏がスプートニクに語った。

https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1584272439336632321?t=-gQkNKbpRKbB-YUKOSjHYg&s=09



●イタリアでロシア制裁、NATO、武器援助に反対する集会(2022年10月23日)

人々は中央フェラーリ広場で、反ロシア制裁、NATO、キエフへの武器出荷に反対するデモに参加している。

ジェノバ自由広場協会の広報担当者は、キエフへのいかなる支援にも反対であり、自国の外交政策がローマではなく、米国やEUで決定されることにも反対であると語る。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1583880140110516226?t=6CbZBxJaEwB1PRjtkqHMPA&s=09>



●暖房に関するイタリアの新しい法律(2022年10月23日)

2022年10月22日よりお客様には大変申し訳ありませんがエコロジー移行省が暖房の使用に関する新しい法律を制定したのでお知らせします。

アパートの各部屋の最高温度は19-20度。23:00から5:00まで暖房を停止。

大変申し訳ございませんが当局の規制があります。



●ドネツクで花びら対人地雷(2022年10月24日)

ペゴフ氏、ドネツクで花びら対人地雷で骨折し負傷し、ロシア軍が病院に搬送した。命に別条はなく、医師は以前のように歩き、走れるようになると約束しているとのこと。



●米国戦争研究所の最近のウクライナ戦況の見立て(2022年10月24日)

ISW(米国戦争研究所)は、ウでの特殊作戦の進捗状況について別の報告書を発表した。

ウクライナ軍は、ケルソン州北西部、クレミンナ、スヴァトヴェ付近で攻勢を試みたが、これらの攻撃はロシア軍に撃退され、ウクライナ軍による反撃の試みはすべて完全に失敗したという。



※安齋注:こういう情報は日本では全く報道されません。

●ケルソン州知事の発表(2022年10月24日)

ケルソン市当局は「ケルソンに留まると希望する男性には、領土防衛の隊列に加わる機会が設けられた」と公式発表を行なった。

これに先立ち、ケルソン州副知事は状況は安定しているが、ウクライナ軍は突破口を開く試みを続けていると述べた。昨夜、ケルソン地方で破壊工作と偵察のグループが捕らえられている。



●欧州景気、物価高・金利高で後退、ドイツ車部品大手会長(日本経済新聞、2022年10月24日)

ロシアのウクライナ侵略で欧州景気に不透明感が漂う。エネルギーをロシアに依存しつつ、欧州の成長を支えてきたドイツの製造業は特に苦しい。フィルターを手掛ける自動車部品大手マン・ウント・フンメル・グループのフィッシャー監査役会会長に見通しを聞いた。

「自動車業界を暴風雨が襲いつつある。新型コロナウイルス禍から回復すると思いきや、インフレや金利上昇、戦争などの新しい試練に見舞われた」

●EU 諸国のロシア制裁への抗議(2022年10月24日)

EU 主要国で住民の抗議活動が行われている。電気料金や食料価格の上昇を中心とした生活環境の悪化に不満を持っている。数千人の抗議者が、仏と独の政府の現在の政治的方針を変えることができるかどうか、専門家と議論した。今の欧州には言論の自由がないことも分かった。



●ウクライナ国家安全保障・国防会議長官オレクシー・ダニーロフ国連事務総長報道官 ステファン・ドゥジャリク(Sputnik、2022年10月24日)

ウクライナ国民の平和を願う、日本の国会議員やジャーナリストたちは、ウクライナ政府高官の自国民に対するこの発言をどう思うのでしょうか？

https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1584466331168288768?t=zlzrq0NYf6JhoYUWT8aDeQ&s=09

注目！

先にダニーロフ報道官はウクライナ領からロシア語は完全に消滅しなくてはならないと発言していた。ロシア語話者のウクライナ人と理解しあうという主張は国家にとって極めて危険であると指摘し、「彼らが我々のもとから離れてくれればいい、彼らは沼にでも沈んでしまえ、そこでカエルよろしく、ロシア語でケロケロぼざくがいい」とコメントしていた。

※安齋注:2014年のポロシェンコ親米傀儡政権以来、変わらぬロシア語話者に対する「差別」どころか「彼らに居場所はない」宣言ですね。これでも「ウクライナ頑張れ！」かしら？

●ウクライナの兵の召集(2022年10月24日)

キエフのユーリ・マクシモフ首席軍事委員は、ウクライナ軍は「追加人員」を必要としており、したがってウクライナでの動員は継続されるだろうと述べた。

召集令状は、兵役義務のある60歳未満の男性全員が想定されている。

※あるツイッターのつぶやき:既に死傷者は40万人以上だと推定されとる。一刻も早くネオナチ政権を倒さなコネと金の無いウクライナ人の男は皆殺されるで。

●イラン外務省が対口無人機提供を否定(2022年10月24日)

イラン外務省が、ウクライナ戦争で使用するためにイラン製無人機が提供されたとする根拠のない主張を拒否「EUと英国政府は、自らの根拠のない主張を国連安保理決議2231号に結び付けようと画策しているが、宇紛争をめぐる問題は、決議2231号とはまったく関係ないものである」



[Pars Today] イランが、ウクライナ戦争用の無人機提供めぐる根拠ない主張を否定

イラン外務省のキャンアーニー報道官が、ウクライナ戦争で使用するためにイラン製無人機が提供されたとする根拠のない主張を拒否し、「我が国には、あらゆる無責任な行動に対して対処する権利がある」と述べました。

キャンアーニー報道官は 20 日土曜、「EU 外相理事会とイギリス政府による新たな対イラン制裁発動は、ウクライナ戦争でイラン製無人機が使用されたという根拠のない嘘を口実としたものであり、ドイツ、フランス、イギリスが行った共同声明でのこの件をめぐる主張も受け入れられない」と述べました。

キャンアーニー氏は続けて、無人機提供に関する根拠のない主張を否定しながら、「イランは常に、国連の全加盟国が、各国の独立、主権、領土保全などの、国連憲章や国際法に含まれる原則・目的を完全に尊重すべきであることを強調している」と説明しました。

また、「イランは、政治的プロセスを通じて、ウクライナでの平和および戦争の即時終結に向けて支援している」と指摘しました。

そのうえで、「EU とイギリス政府は、有害な反イラン的政治的雰囲気を作り出そうと、無責任かつ破壊的で違法な行為を続ける中で、国連安保理決議 2231 号の曲解を示し、自らの根拠のない主張を同決議に結び付けようと画策している。しかしながら、ウクライナの現在の紛争をめぐる問題は、決議 2231 号とは主題・内容ともまったく関係ないものである」としました。

そして、「イランの偉大な国民は、反イスラム共和制を主張する一部のヨーロッパ諸国が、8 年続いた押し付けられた戦争(=イラン・イラク戦争)の間に、化学兵器を含む大量破壊兵器をイラクの独裁者であったサッダーム・フセインに提供し、その犯罪の片棒を担いだことを、決して忘れることはない。イランは今でも、これらの国々がサッダームの犯罪の共犯者であり、その結果に対し責任があるものと考えている」と強調しました。

●スコット・リッター、プーチンを語る(2022年10月23日)

投稿者コメント: 2分間でプーチンが大統領になった流れと、彼がやろうとした事が分かります。ものすごい早口でした!

<https://twitter.com/Jano661/status/1583851702557765633?s=20&t=BTTxcRsA1ec-EBI7hZ1KHg>



※安齋注: いま日本でこんなプーチン擁護的なことを言うと、袋叩きに遭いそうですね。

●パリで、NATO と EU に対する別の大規模な抗議デモ(2022年10月22日)

<https://twitter.com/megasametarot/status/1583957505033482240?t=uKIqfAS-wcaXs2kjfCzAIA&s=09>



●ゼレンスキー、核先制攻撃について BBC で言い訳(2022年10月8日)

「攻撃と翻訳された”Udary”と言う単語は”Attack”ではなく”Kick”だった。そして”予防キック”は制裁の意味だ」と BBC で述べた。

ゼレンスキー『あなた方(NATO 諸国)は「攻撃」ではなく「予防キック」をしなければならない』。



※安齋注:訳わからん！でも核兵器について述べて問題になったんでしょ。「核兵器による予防キック」ってな～に？

●意味ありげな風刺写真(2022年10月8日)



アメリカのカネでゼレンスキーの口封じ

●欧州議会 クレア・デイリーのテロ支援国家についての演説(2022年10月24日)

ウクライナの大統領顧問が「ロシアをテロ支援国家にしろ」と EU に言った事で、だいが怒っているクレア議員(アイルランド) 日本語字幕あり

<https://twitter.com/Jano661/status/1584458718816907264?s=20&t=nRHzdN1gWyNeKvahBZmZeg>



●汚い爆弾(ダーティ・ボム)をめぐる議論(2022年10月24日)

「キエフ核研究所は「ダーティ・ボム」の製造を命じられた。その作業はすでに最終段階に入っている」。ラブロフ外相は「ダーティ・ボム」についての欧米の否定は根拠がない」と指摘し、「何人かの対話者は、我々が持っている情報を専門的、軍事的なレベルで議論したいと申し出てきた。これは我々が支持したアプローチだ」と付け加えた。

また「ダーティ・ボム」挑発の準備について、この情報はすでに米・英・仏・トルコの国防相に詳しく伝えられているという。

「軍部のラインで、さらなるコンタクトが予定されている。また、今日か明日にはこの問題が国連安保理で議論されるとも言える」と述べた。



ちょっと気休め映像をお楽しみ下さい

●成功への階段(投稿、2022年10月24日)

https://twitter.com/tobimono2/status/1584572949859688449?t=TQIBsF_28Di8PfPN9Ic3cw&s=09